

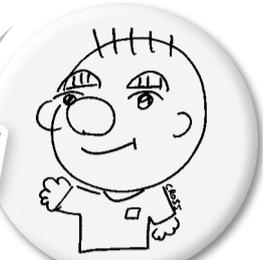
一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34-2111
旭川医院	旭川市神楽3条4丁目	61-1117
宗谷医院	稚内市末広3丁目(稚)	24-1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63-1165
ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34-2917
看多機なかま	旭川市神楽3条4丁目	73-4165
旭川きた介護センター	旭川市大町2条14丁目	53-2111

道北の医療

発行所
社会医療法人
道北勤労者医療協会
〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
TEL 0166-33-1117
FAX 0166-32-6925
発行者 橋本浩徳

民医連最北の道北勤医協で

研修医と友の会をつないだ「手紙」



黒須先生が書かれたご自身のイラスト

黒須拓郎医師インタビュー



今年4月より、黒須拓郎先生が道北勤医協に就任されました。黒須先生は2019年4月に医師になって初めての研修を道北勤医協でスタートさせ、地域に根差した民医連の医療を学びました。研修では病棟研修、訪問診療研修など様々な分野の疾患を経験され、さらに地域の行事や健康まつりにも積極的に参加するなど、友

の会の皆さんとの交流を大切にされてきました。その後、札幌の勤医協中央病院をはじめ、道内の勤医協の病院で研修をされました。4月より道北勤医協での勤務を開始し、現在は外来や病棟、訪問診療を中心に診療を行っています。今回、黒須先生にインタビュー

●5年ぶりとなる旭川、そして道北勤医協でのお仕事はどうですか？
初期研修の時もそうでしたが、一条通病院はともアットホームで落ち着きます。ホームに戻ったような感じですね。
宮城県出身です。北大歯学部を卒業し、歯科医師として勤務後、旭川医大へ。学生時代も含めて7年くらい旭川で過ごしました。久しぶりに旭川に戻って来て、やはり懐かしい思いです。これから一条通病院をはじめ、患者さんや地域の人たちに恩返しできればと思っています。

●総合診療医をめざしているとお聞きしました。以前、祖母を看取った。旭川大入学後も続けていたので、15年の臨床経験があります。歯のこと



東光友の会総会で医療講演を行う黒須医師

●歯科医から医師をめざしたきっかけを教えてください。
歯科医師となり、富山県で勤務をしていた時に、東日本大震災が起きました。故郷が震災の被害を受けたことが医師を志すきっかけとなりました。そして一念発起し、旭川医科大学に入学しました。歯科医師としては、旭川医大入学後も続けていたので、15年の臨床経験があります。歯のこと

●今後の抱負をお聞かせ下さい。
早く慣れて、求められていることに少しでも応えていきたいと思えます。当たり前前のことを当

くれた医師が総合診療の先生でした。自分の目標としている医師のイメージにピッタリで、憧れを持ちました。一つの臓器だけを診るのではなく、何でも診ることが出来る総合診療医をめざすきっかけとなりました。地域医療に従事したいと考えた時に、すべてを診ることはできませんが、どんな疾患でも断らないで幅広く対応できる医師になることを目標にしています。

●気分転換はどうされていますか？
子どもと遊んだり、朝散歩したり、温泉に入ることが癒しです。中でも神社めぐりが最も癒されます。神社の境内は、何となく気持ちが引き締まり、だけどとてもほっとする癒しの空間、パワースポットです。ただ行くだけで良いのです。その場所の空気を吸っているだけで幸せな気持ちになります。

●道北勤医協に赴任後、さっそく東光友の会の総会に参加させていただきました。前回の時と同様、多くの方たちに会うことができました。とても嬉しかったですね。
旭川の友の会だけでなく、各地で友の会の皆さんには大変お世話になりました。病院だけでなく、私たち医師やスタッフを支えていただいていると感じています。

●東光友の会 太田元美会長よりメッセージをいただきました。
黒須先生が道北勤医協に戻って来られ、とても嬉しく思います。そして、東光友の会総会で再び医療講演を聞くことができました。みんなとても喜んでいました。
一条通病院での研修を終えて札幌の病院に戻られた後、役員会で黒須先生にお手紙を出すことを話し合いました。そして何度かお手紙を出しました。先生が手紙をととても大切にされているのと、役員一同喜んでおられます。
これからもお身体に気をつけて、患者さんのためにがんばって下さい。医療懇談会の際には声をかけますので、ぜひ参加して下さい。

昨年6月、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定された。デジタルの活用により多様な幸せが実現できる社会を目的とし、AI活用やマイナンバーカードとデジタル行政サービス、官民でのデータ連携などを推進するとしている。現在、様々な手続きをネットで行うことができるが、パソコンやスマホを使わない世代への充分な配慮と個人情報保護の厳密な管理が求められる。読売新聞の調査によると、デジタル空間の情報との向き合い方について、日本とアメリカ、韓国の3か国を対象にアンケートを実施した結果、アメリカや韓国に比べ日本は情報の事実確認をしない人が多く、ネットの仕組みに関する知識も乏しいことがわかった。回答者のメディア利用状況を聞いた結果、偽情報に騙される傾向が表れたのは「SNSを信頼している人」「ニュースを受動的に受け取る人」であり、一方で騙されにくかったのは「新聞を読む人」「複数メディアから情報を得ている人」だった。新聞やメディアは正しい情報を伝える責任がある。そして私たちも、より正確な情報を得るための行動が求められている。(た)

道北勤医協設立50周年にむけて

全職員の英知を結集して、経営再建、医療・介護事業再編に全力を

道北勤医協は、6月15日に第71回定時社員総会を開催します。今回の総会は、「コロナ禍」を経て道北勤医協が法人設立50周年にむけて、2024年度どのような医療、介護実践にとりくんでいくのかを確認し合うことが目的です。

私たちがめぐる情勢の特徴と今回の総会方針の骨子について、橋本浩徳専務理事に説明いただきました。



総会方針の骨子について説明する橋本浩徳専務理事

複合的な困難の中で岐路に立つ日本

いま、日本は歴史の大きな「分岐点」にあります。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル軍によるガザ地域大規模破壊等、世界的軍事緊張が高まっています。またこの期、激動する情勢に危機感を煽り、憲法改正やさらなる軍備増強を声高に訴える勢力の台頭もあります。日本経済が行き詰まる中、歴史的な「円安」と物価高の嵐が吹き荒れ、「貧困と格差」が深刻化しています。生産年齢人口の減少による全産業での「働き手不足」など、日本社会はかつてない複合的な困難に直面しています。

2024年度道北勤医協の医療・介護事業展開

道北勤医協はこの1年

これまで貴重な実践を基礎に、医学生の「良い医師になりたい」という思いに寄り添い、患者背景をとらえる視点や、もっとも困難な人々に寄り添う「民医連医療の実践」、職員の姿を知ってもらう活動を重視します。多くの職員や社員・友の会との交流の場を増やし、民医連の医療観や実

医学生に寄り添う活動の重視 友の会もこの一環で 医師紹介運動

間、新型コロナウイルス感染症と対峙しながら、きびしい医師体制、経営環境の中で職員ひとりひとりが奮闘してきました。新型コロナウイルスの法的な位置づけが変更する中で、感染対策を継続しながら、全日本民医連が提起する「民医連の4課題」(①平和・地球環境・人権を守る運動、②健康格差の克服に挑む医療・介護と社保運動、③生活と人生に寄り添った医療・介護体系、④高い倫理観と変革の視点での職員育成)のとりくみを引き続き重視します。

直面する経営課題に全職員の力を結集してとりくみます

道北勤医協は、2024年、2025年を「経営再建特別期間」として、この2年間で道北勤医協が「利益確保できる組織、事業体」となることを目標に集中的な取り組みを行います。医療、介護事業すべての事業体が「赤字経営からの脱却」を目標に掲げ、理事会がその先頭に立って奮闘します。重大な経営到達をすべての社員、職員の自らの課題と受けとめ合い、2024年度、2025年度の2年間で「利益確保できる経営体への

法人設立50周年にむけて 無差別平等の医療と介護の実践を

2025年度、道北勤医協は設立50周年を迎えます。

道北勤医協の歩みにはいつも、無差別・平等の医療と介護の実践への「逆風」がありました。私たちは、医師問題、経営問題等の課題と対峙しながら、その時々を友の会のみならずとも求められる課題に挑戦してきました。

道北勤医協からも若手を中心に17人が参加！ 「働くものの団結で生活と健康を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」を掲げて 第95回メーデー旭川集会

5月1日、第95回メーデー旭川集会が旭川駅前広場で行われ、21団体217人が参加、道北勤医協から17人が集会に参加しました。

ロシアのウクライナ侵攻が続き、パレスチナ・ガザでは多くの人たちが犠牲になっています。長引く物価高騰による実質賃金の低下が続き、貧困と格差が広がり、労働者国民の暮らしは厳しさを増しています。医療・介護の分野でも診療報酬が上らない中、コロナへの対応など、医師や看護師、介護職員不足が続いています。

今年のメーデーは、直面する困難を仲間の連帯で打開し、平和の実現と未来に向けて団結することを確認しました。

集会後は、市内を中心にデモ行進しました。

道北勤医協でも診療開始前に院内集会を開催しました。労働組合から中村亮執行委員長、協会より菅原保明一条通病院事務長があいさつを行い、憲法9条を守り、医療・



診療前の道北勤医協のメーデー集会

道北勤医協第71回 定時社員総会告示

日時：2024年6月15日(土) 午後2時～

会場：大雪クリスタルホール 旭川市神楽3条7丁目

議題：

1. 道北勤医協2024年度活動方針案の件
2. 2023年度事業報告、決算報告、監査報告、2024年度事業予算の件
3. 社員入退会の件
4. 役員選挙、他

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN IREN

2024年6月号 380円 好評発売中

テレビで会えない芸人に会ってみた

ひんご教室 女性の健康と権利

珠洲市の原発計画 石川

まちの子カラ 三重県菟野町

食と健康 おかずスープで大満足!

あらかると年間大賞発表

発行：一般医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)8656 FAX 03(5842)9557

友の会無料法律相談のお知らせ

6月18日(火)、午後2時から「あかつき法律事務所」の畑地雅之弁護士がご相談をお受けします。

※予約制です。前日までにご予約ください。

連絡先 33-0854 (友の会連合会)



メーデー旭川集会のデモ行進

お知り合いの 看護師さん 介護福祉士さんをご紹介下さい!



私たちは、民医連の理念である、いつでも、どこでも、だれもが安心できる無差別平等の医療・介護の灯をたやすことなく歩みを進めています。

道北勤医協の医療・介護の事業所は、医師をはじめ多くの職種がチーム医療で患者さん、利用者さんに接しています。なんでも気軽に話し合える明るい職場です。

ご家族、お知り合いで私たちと一緒にがんばっていただける看護師、介護福祉士の方々をご紹介下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

看護職員募集

(正職員)

- 募集資格：正看護師
 - 業務内容：病棟（2交代・3交代）・訪問看護ステーション
 - 勤務場所：一条通病院を含む当協会の事業所
 - 給与：当協会規定に準ずる（定期昇給 年1回）（賞与年3回）
 - 諸手当：準夜・深夜手当 2交代夜勤手当
 - 待遇：各社会保険完備、交通費規定支給、住宅手当、家族手当、越冬手当、病棟看護師手当、勤続加算、有休、リフレッシュ休暇、共済制度あり
 - 面接：随時
- ※詳しいお問い合わせについては下記にご連絡ください。
- 担当：道北勤医協 看護部（担当：八重樫）
電話：0166-33-1117



介護福祉士募集

(正職員) ※パートでの時間も相談に応じます

- 資格：介護福祉士
 - 勤務場所：一条通病院・老健施設など当協会の事業所
 - 勤務：【日勤】8:45~17:00(公休制) 早出・遅出あり
【夜勤】2交代のシフト制
 - 給与：当協会規定に準ずる(定期昇給 年1回)、(賞与年3回)
 - 待遇：各社会保険完備、交通費規定支給、夜勤手当、住宅手当、家族手当、越冬手当、有休、リフレッシュ休暇、共済等あり
 - 面接：随時
- ※詳しいお問い合わせについては下記にご連絡ください。
- 担当：道北勤医協 介護事業部（担当：三瓶）
電話：0166-53-2111



相談室の窓

先日、聴覚障害を持つ方々と意見交換する機会をいただきました。「相談窓口の情報がなく、困りごとをどこに相談したら良いかわからない。」

「施設に入所したが、手話のできる職員がおりず、筆談での会話は負担となるため、コミュニケーションをとる機会が減少し孤立した結果、認知機能が低下した方がいる。」

「聴覚障害のある方を専門に支援する高齢者施設は道内では新得町にしかないため地元の生活を諦めるか、必要な支援は十分に受けられないまま生活をつづけていく方法しか選択肢がない。」

などの声でした。その他

にも、豊岡・啓明・東光地区で開催された災害時支援の協議会の中で、視覚障害者は緊急時に支援者が訪問しても、その声に聞き覚えがなければ信じてついていくことができないため、日頃からの

「相談窓口を知らない」

支援センターの認知率は68・2%と半数以上を占めていますが、支援を必要とするすべての方の相談対応ができていない状況ではありません。

困りごとがあっても

**自分の住む地域に、
気になる方は
いらっしゃいますか？
その方に頼れる人は
いそうですか？**

つながりが大切との意見をお聞きしました。このような情報は当事者の方と接点がないと把握できないのが現状です。

令和4年度の旭川市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、地域包括

「制度の活用は恥ずかしい」「他人には知られたくない、関わってほしくない」等の理由で相談窓口が届くことのない「声にならない声」が地域の中に埋もれています。

地域包括支援センター

総会、交流会が行われています

やっぱりみんなで集まって交流が一番

コロナ禍の4年間、友の会の行事や取り組みは、みんなで集まるのが難しく、顔を合わせての交流ができませんでしたが、5類への移行後、感染対策に気をつけながら様々な取り組みが行われています。今号では、緑が丘友の会と東光友の会の総会を紹介します。

緑が丘友の会は、4月16日に総会を開催。27人が参加しました。

2023年度の活動のまとめと2024年度の方針、「道北の医療」の配布体制などについて話し合いました。

神長まゆみ地域健康部長の医療講演「人生の最後を迎えるに当たって」最後の3大不安も大変好評でした。

4月18日に行



緑が丘友の会総会



東光友の会総会

黒須拓郎医師の医療講演「幸せを手に入れる3つの魔法」は、とてもわかりやすいお話しで大変好評でした。

道北勤医協
医療ソーシャルワーカー
五十嵐 巨森

では、社会福祉士・主任介護支援専門員・保健師・精神保健福祉士（旭川独自配置）等の専門職が個別相談の対応以外にも、地域課題について情報収集と分析を実施し、市や関係機関、地縁組織の方々と協議しながら課題解決の活動に取り組んでいます。決して万能ではありませんが、地域の中にある「声にならない声」に触れることができれば問題解決の糸口が見出せるかもしれません。

地域のなかでそのような方がいらっしゃいましたら「声を届ける後押し」のご支援ご協力をお願いいたします。

小児科外来の 診療時間・形態を 変更します

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う感染対策として、2020年10月より診療時間や形態を変更していましたが、2024年5月1日より通常の診療時間・形態に戻りました。尚、来院時の体温測定・マスク着用・手指消毒などの感染対策は継続し、感染症の方は別室等で対応させて頂きまので、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

	9:00~12:00	13:30~13:45	13:45~14:15	14:15~17:00
月曜日	一般外来	10か月健診専用	予防接種・乳児健診専用	一般外来
火曜日		休診		
水曜日		休診		
木曜日		10か月健診専用	予防接種・乳児健診専用	一般外来
金曜日		休診		
土曜日	※11:30まで (診療日:第1・3・5土曜日)			

※「一般外来」は、予防接種・定期受診も含まれます。
 ※第2・4土曜日、祝日、水曜日の午後は休診です。
スマホ等からWEB予約してからのご来院がおすすめです。
 予約なしでも診療できます。診察の順番は予約の方を優先させて頂きます。

道北勤医協一条通病院 小児科



WEB予約
QRコード



「道北の医療」

お届けしています!

色々なつながりを大切にしています

啓明友の会 水谷 直子さん



今号より、タイトルを「道北の医療」お届けしています!に変わりました。啓明友の会の水谷直子さんを紹介します。

道北の医療配布のきっかけは、啓明友の会の行事や一条通病院の新年

会、お花見など皆さんと交流する中で、協力できることがあればと思いい、配布を続けています。

水谷さんは、樺太生まれ。樺太で終戦を迎え、その後樺太から引き上げて函館へ。小学5年生の頃、旭川へ。当時は何もなくて、両親は苦勞して働いて私達を育ててくれたと思います。

クリーニング屋さんの事務職員として、25年間働きました。当時、一条通病院が夜間診療を行っていた、安心してかかることができました。もう30年以上お世話になっております。主人や親も勤医協で看取っていただき、近頃にかかりやすい病院があり、とても頼りにしています。

日頃からできるだけ色々なつながりを大切にしています。健康面では、まちづくり交流館の健康体操をはじめ、老人クラブ、プールやふまねっとにも定期的に通い、交流をしています。

市外の息子にはコロナ禍で会えない時もありま

との声があがったのを覚えていてます。

少しでも長く

旭川市 遠藤 里香さん

春が近づくと、皆さんの家の周りの雪を崩して日向や道路に出しています。雪が大好きな私は少しでも長く雪に残ってほしい気持ちです。

腹立たしいことです

旭川市 林 吉明さん

年金生活者に対して病院の窓口負担が上がったに、次は医療

シリーズ



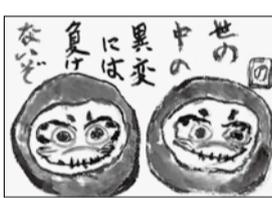
読者のひろば

黒須先生の着任、嬉しく拝読しました。初期研修医の時、豊岡東友の会の総会で医療講演をしていただき、その後の交流会にも参加して下さいました。

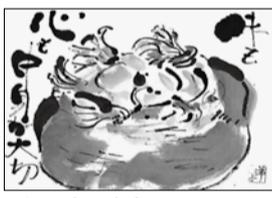
気さくなお人柄で参加者から、ぜひ道北に来て下さい



上富良野町 谷口 君子さん



旭川市 長島 典子さん



旭川市 寺島 洋子さん

雪がとけて、うきうきしています。畑が忙しくなっています。冬の間は体力維持のため、足踏み運動をしていました。やるぞ!

網走 須藤 俊子さん

先が見えない日本と世界の動きにため息。でも、日曜日の朝のTVや「道北の医療」から元気をもらいます。

日曜日の朝

富良野市 佐々木 優さん

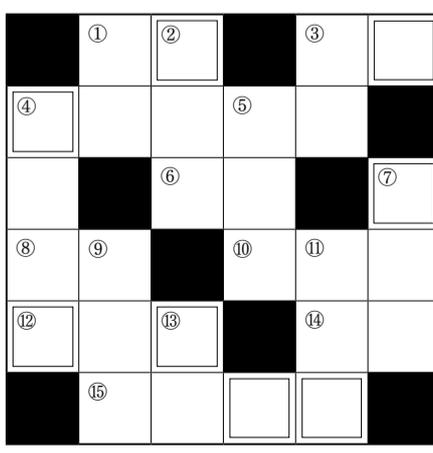
道端のあちこちにフキノトウが顔を出し、春の息吹を感じます。近所の庭に植えられていたギョウジャニンニクもすでに芽を出してびっぴりです。本当に楽しい季節になりました。

今年も春も山菜をいっぱい食べて元気に過ごしたいです。

稚内市 佐々木 康さん

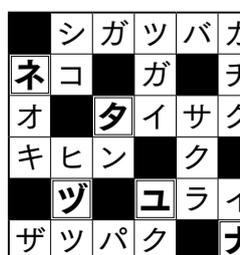
戦後を生きてきたので、辛いこともたくさんあり、我慢することもありました。良い時代だったと思います。今の若い人たちのことを思うと、大変な時代になっていくと感じます。物価高や給料がなかなか上がらないことなど。日々の生活や病気のことなど、安心して暮らせる社会になることを心から願っています。と温かくお話しされました。

クロスワードパズル 422



- ヨコのかぎ?
- 錦○○。
 - 2034年の十二支は?
 - さしでがましく利口ぶっている。なまいき。
 - 安芸の○○。火の○○。
 - 4分の1.○○ター。
 - くじ。
 - ボンベ。○○○吸入。
 - その時の商品としての価格。
 - 彼はある政治家の○○○○だ。
- タテのかぎ?
- 現在ならブルーシート。昔は何を敷く?
 - 威力を相手に示しておどすこと。
 - 質問。設問。
 - ケシ科の高山植物。
 - 世代。○○○クラス。
 - 宮沢賢治の童話。「○○○○の星」。
 - にだっこ。
 - 粉々に砕けること。木端○○○。
 - 相当。○○取って

クロスワードパズル4月号解答



お送り下さい。抽選で20人の方に図書カードをお送りします。

◆締め切りは6月末日。
 〓あて先〓
 〒078-8341
 旭川市東光1条1丁目4番20号 道北勤医協本部 地域健康部
 (Eメールアドレス) tomonokai@dohoku-kinjyo.or.jp

4月号の答えは菜種梅雨(なたねづゆ)。応募総数は116通(ハガキ68通・メール46通・応募用紙2通)

〓当選者〓20人(敬称略)

池田佳代、伊藤晴夫、大友喜美子、川口ハルエ、小出恵嗣、中田守彦、西川美恵子、星野和子、川原紀子、松本知昭、山原順子、宮本直子、山田真美(以上、旭川市)、松澤佐美子(東川町)、小平一郎(名寄市)、上野真知子(浜頓別町)、伊藤美代、江川加代子、木村幸子、門間祥裕(以上、稚内市)

北海道の一大イベントです。